

令和2年 8月21日

川崎市議会議長 山崎直史様

宮前区在住者

PCR検査を川崎市で実施してほしい陳情

陳情の要旨

新型コロナウイルスの感染拡大も止まりません。そこで私は提案いたします。国が手をこまねいてPCR検査を積極的に行っていない現状で、自治体独自で無料でPCR検査を実施していただけないでしょうか。川崎市民を新型コロナウイルスから命を守るためには、是非必要になってきています。

「誰でも いつでも 何度でも」検査できる「世田谷モデル」の検査拡大システムをまねしろとまでは言いませんが、少なくとも60歳・65歳以上の高齢者を対象に、無料でPCR検査をする体制を実施してください。

陳情の理由

8月20日現在の新型コロナウイルスの感染状況を簡単に示します。(更新日時：8月21日 7:43)

・東京都の事例

感染者数 18,607人、死亡者数 348人

・日本の事例

感染者数 58,501人、死亡者数 1,144人

・世界全体の事例

感染者数 22,515,213人、死亡者数 789,825人

東京都の発表では、8月20日の新規感染者数は339人。5日ぶりに300人を超えました。現在の状況について、重症者数の増加が加速していると見ています。

神奈川県内では20日、新たに104人に新型コロナウイルスへの感染が確認され

ました。感染が確認されたのは横浜市で38人、川崎市で30人、相模原市で11人、横須賀市で4人、藤沢市で2人、茅ヶ崎市で1人、県管轄の保健福祉事務所管内で18人の合わせて104人で、100人を超えるのは5日ぶりとなります。また、横浜市で80代の女性患者が死亡しました。川崎でもコロナの感染の重症化によって死亡者も出ています。特に最近の傾向として、若年の無自覚無症状感染者→家庭内の家族に感染→家庭内の高齢者に感染する感染事例が顕著になっているようです。

より身近な本市の発表によれば、新型コロナウイルス感染症に関して20日、10歳未満から80代までの男女30人の感染が新たに確認されました。内訳は、中等症3人、軽症24人、無症状3人で、19人の感染経路が不明という。本市発表の感染者数は累計971人です。年代別は、20代が最多の11人、30代8人、50代4人、40代2人、10歳未満と10・60・70・80代が各1人。居住区は、川崎区7人、高津・多摩区が各6人、幸区5人、中原区3人、麻生区2人、宮前区1人。

本市によると、経路が判明している11人のうち、家族内感染が6人、感染した友人や同僚らの濃厚接触者が5人。経路不明の19人は、共に川崎区居住で市立川中島小学校に勤務する40代の女性職員や無職の70代男性、多摩区に住む80代の主婦らが発症しています。

私などは一歩外に出るのが怖くてたまりません。まして、混雑する電車に乗って通勤電車に乗るのは、なおさらに感染の恐怖で一杯です。そこで私は提案いたします。国が経済とコロナ抑制という矛盾した政策を掲げていて手をこまねいて、PCR検査を積極的に行っていない現状では、自治体が独自に無料でPCR検査を実施していただけないでしょうか。市民を新型コロナウイルスから命を守るためには、是非必要になってきています。

既に、東京都世田谷区では新型コロナウイルスの感染防止策として、1日に2,000～3,000件をPCR検査できる体制整備の検討を始め、「誰でも いつでも何度でも」検査できる「世田谷モデル」として早期発見や治療につなげ、感染の広がりを抑える施策を実施している。思い切った検査拡大のシステムは、深刻な感染拡大が起きた米国ニューヨーク州で既に実現して効果を上げています。無症状で自覚がない段階の感染者もすくい上げ、迅速に対応することで、同州では感染者が劇的に減少しました。フランスで導入されてPCR検査の迅速化

の効果を実証した日本製の検査機器は、1度に100件単位の検査を自動でできる
そうです。

世田谷区保坂区長は「最大の経済対策は、誰でも、いつでも、何度でもPCR
検査をできる体制づくりだ。」と話しています。

川崎市健康安全研究所岡部所長とよく御相談の上、御検討ください。